

## BER測定機能 簡易手順書 (MS2830A-026 / MS2840A-026)

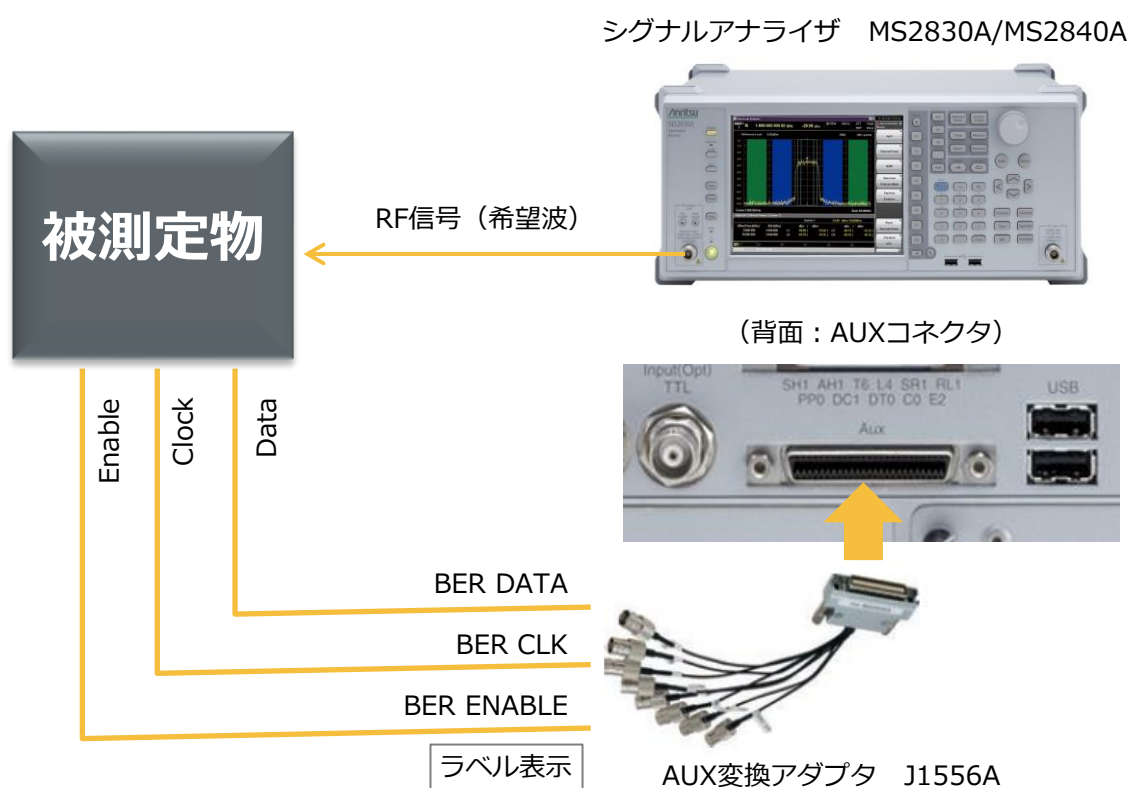
シグナルアナライザ MS2830A/MS2840A

本書は、シグナルアナライザ MS2830A/MS2840AのBER測定機能オプションの操作の概要をご紹介します。  
実際の測定では、被測定物となる無線機器の仕様に合わせて各設定を調整してご利用ください。

詳細な機能/設定範囲/操作などについて、下記をご覧ください。

**MS2830A シグナルアナライザ取扱説明書 本体操作編 第8章 BER測定機能**  
**MS2840A シグナルアナライザ取扱説明書 本体操作編 第8章 BER測定機能**

### □ BER測定 機器接続イメージ



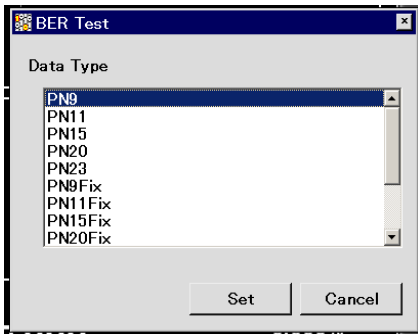
①



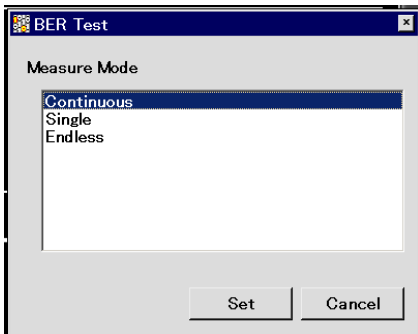
【操作手順】

- ① [Application Switch]
- ② [Fx: BER Test] BER機能をアクティブにします  
(1ページ)
- ③ [F6: Data Type] を選択 (例: PN9)
- ④ [F7: Measure Mode] を選択 (例: Continuous)
- ⑤ [F8: Count Mode] を選択 (例: Data、1000bit)  
※設定したデータビット数ごとにBER結果を表示します。  
(2ページ)
- ⑥ [F1: Resync Condition]  
(例: Auto Resync = On、Threshold=200/500bit、  
at Sync Loss=Count Clear)  
※必要に応じて設定してください。
- ⑦ [F2: BER Interface] ※注記をご覧ください。  
(例: Clock Edge=Rise、Data Polarity=Positive、  
Enable Active=Disable)  
(1ページ)
- ⑧ 測定開始 [F1: Measure Start]
- ⑨ 測定終了 [F2: Measure Stop]

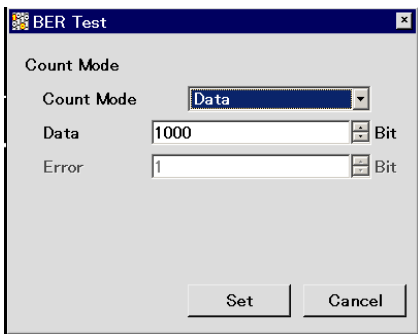
③



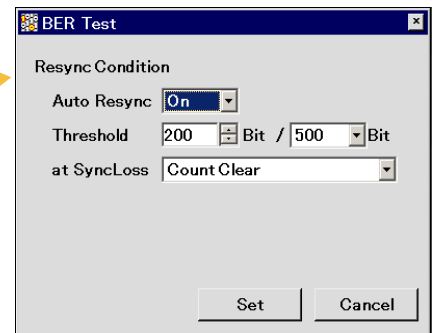
④



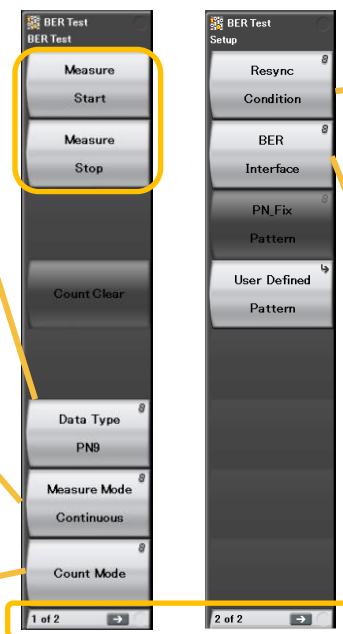
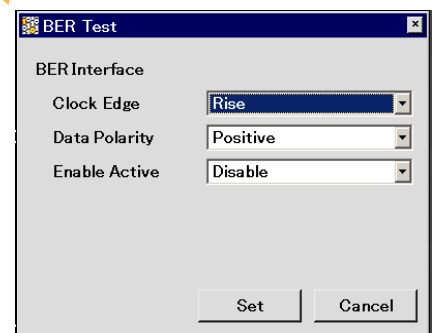
⑤



⑥



⑦



注) クロックの極性 (右図参考)

被測定物で復調したデータがクロックの **Fall** に同期して出力されている場合、BER測定では **Rise** でカウントします。

被測定物から出力されるデータとクロックをオシロスコープで確認してご利用ください。

